



「樹の会」総会と10周年記念講演会

力を合わせて  
山を動かそう！

名古屋教区カトリック女性の会「樹の会」は5月20日、第10回総会と講演会を南山教会マリヤ館で開催した。

総会で深堀冨子会長は、「2006年の発足当初は12、13人だった会員が、09年からキヤラバ

ン隊で26小教区を訪問した結果、現在45人となった。『あなたにできることをする』という Motto が、活動しやすい要素となっていると考えている。一人ではできないことも、組織で力を合わせる山を動かすほどの力を発揮できる」と挨拶した。

担当司祭の狩浦正義神父は、世の中の変化に対応し女性に求められている新たな課題に繋がりをもち、樹木のように自然と共に歩んで行くよう

にと話した。

今年度は役員交代があり、会長平尾公子、副会長深堀冨子、千村かつ子、会計北村幸子、日カ連理事金森タイが承認された。

お知らせ

「樹の会」ミサと例会は毎月第2火曜日10時より、カトリック南山教会にて。入会希望の方は事務局まで。

TEL&FAX 052-177617808 (平尾)



新会長・平尾公子さん

講演

松浦司教

「和解が絆もたらす」

松浦悟郎司教の講演には約100人が参加した。

まず演題の「絆」について。人間らしく振舞って生きるのが絆を生むことで、本来の人間の姿になっていく。神が一人ひとりを愛してください

「我々にかたどり、我々に似せて人を造ろう」と

「神の似姿として創造されたから人間は大切な存在である。」

次に、親と子は無条件の絆で結ばれており、家は子にとって無条件の居場所であること、例として、一人の女子中学生の事例を話された。

その子は親に暴力をふるいシンナーや薬物に手を出し、暴走族とも付き合うなど、悪行の限りを尽くしたが、どうにもならなくなると家に帰り、親に頼るのだった。神は「こちらへおいで」と助けることしかなさらないから、神と人間とはまさに親と子の関係である。

「樹の会」の10周年を記念するに相応しい講演会となった。



「私」が「わたし」である。人間は男と女に創造された。神は人間を男と女に創造し、人間はすべてを支配するものとなった。しかし、支配はコントロールするのではなく、与え(支)、分かち合う(配)ことである。人間は支え合ひ分かち合ひのものなのである。父と子と聖霊の三位一体の似姿として創造された人間は、

私とあなたとあなた(第三者)という絆を育むことよって、はじめて神の望みに応えることができる。

加害者の改心と被害者の赦しがあった和解の時、被害者は初めて真の癒しが得られる。神はすべての人に平等に尊厳を与えておられる。

縮めくりに松浦司教は、少年が起した交通事故の実話を歌う、さだまさし作詞・作曲の「償い」をスマホで聞かせ、「和解こそが絆をもたらす」と語って講演を終えた。

(千村かつ子)

第32回わだちまつり

「まるっとみんなでカーニバル！」



今年も恒例となった「わだちまつり」が5月28日、AJU自立の家サリアハウスと恵方町教会広場で開かれた。多くの皆様に支えられ「わだちまつり」も今回で32回目。今回のキャッチフレーズ「まるっとみんなカーニバル」。午前11時にファンファーレで開幕した。会場では模擬店をはじめ、ステージイベントでは中部楽器技術専門学校ライブ、はもりね(アカペラサークル)、ナイスガイズ&ケイコ、あじゅら演舞など盛りだくさんに企画され



が任命された。

司教は教会が、「人間の尊厳を守る教会になるために」、「世界で現実起こったような事件を二度と起こさないために」取り組んでいきたいと意気込みを述べている。

昨年、フランススコ教皇は「性虐待被害者のための祈りと償いの日」を

五月晴れで気温も上がりかき氷や冷たいソフトドリンクなどが人気だった。またフィナーレでは豪華賞品が当たる一番人気のビンゴゲームが行われ、番号が呼ばれるたびに大きな歓声が沸きた。

五月晴れで気温も上がった。主催はわだちまつり実行委員会、共催はAJU自立の家後援会。

なおパサー収益金は、障害者の社会参加活動や研修費に使われる。

セクシユアル・ハラスメント対策委員会発足

松浦司教は5月11日、「セクシユアル・ハラスメント対策委員会」の設置を発表した。小教区には「教区の皆さまへ」とするファックスで伝え

この委員会は「特に教会の中でセクシユアル・ハラスメントを起こさないように啓発プログラムを實行」し、何か問題が起こった場合、「司教に對して対応のアドバイスを行う」役割を担うという。

委員長には臨床心理士で「愛知総合HERセ

マックとダルク 5団体を名古屋教区支援団体と認める

松浦司教は5月11日、名古屋教区内にあるマックとダルクの5団体を支援団体と認め、これまで支援の度合いにばらつき

があったのを改める旨、告知した。

「依存症に取り組むマック、ダルクを『名古屋教区支援団体』にし

マック、ダルクで依存症の当事者が取り組む「12ステップ」と呼ばれるプログラムは、キリスト教の人間観に基づいており、カトリック教会は以前から協力しているが、一般の人が誰でも用いることができ、マック、ダルクは誰にでも開かれてことも説明されている。

マック、ダルクで依存症の当事者が取り組む「12ステップ」と呼ばれるプログラムは、キリスト教の人間観に基づいており、カトリック教会は以前から協力しているが、一般の人が誰でも用いることができ、マック、ダルクは誰にでも開かれてことも説明されている。

マック、ダルクで依存症の当事者が取り組む「12ステップ」と呼ばれるプログラムは、キリスト教の人間観に基づいており、カトリック教会は以前から協力しているが、一般の人が誰でも用いることができ、マック、ダルクは誰にでも開かれてことも説明されている。

新しい年、分裂の世界に一致を！

「あすを守られるイエス」と共に

「兄弟の集い」春日井教会にて



5月28日、愛岐プロック恒例の「兄弟の集い」が行われ、多治見、瀬戸、高蔵寺、瑞浪、春日井の5教会から、約120人の参加者が春日井教会に集い、交流を深めた。

4人の司祭の共同司式でミサは始まった。説教では多治見教会のアドリヤヌス・ハヨーン(通称アルディー)神父が虹を例にあげて、「虹の美しさは雨の後にあらわれ、この自然の出来事は人

何をどうするの？ 社会委員会って？

松浦司教は各小教区に社会委員会を設置するよう指示しておられました。が、全小教区から委員の届け出があったのを受けて、社会委員会説明会を開きます。7月22日、名古屋では東海地方の教会が対象、29日は金沢で北陸地方の教会が対象です。

松浦司教は2016年司教教書で三つの基本方針を掲げられました。すなわち、名古屋教区がすべての人の救いに奉仕するために、①福音を伝える、②神の国を実現し、③そのための教会共同体づくりをする、ということになります。さらに、この基本方針実現のために六つの目

生を表している。人は人生の栄光を受けるため、前に向かって進んでいかなければならない。虹のような美しさは苦難の後「うまれる」と語った。最後にはしつとりとした歌声が心に響いた。

「わたし、あすはどんな日か、わたしは知らない。晴れか嵐か曇りになるか、わたしは心配しない。イエスがわたしを守られるから、あすわたしにはわからないけれど、あすを守られるイエスが

ち寄ったゲーム(伝言借り物、むかで、風船送り)をグループ対抗で行い、老いも若きも、司祭もシスターも、素敵な笑顔と共に必死に(?)取り組んだ。一生懸命のご褒美は、「団結してたで賞」「積極的に頑張ったで賞」「盛り上げたで賞」「仲良くあったで賞」とにかく頑張ったで賞の各賞と、全員に公平に配られたお菓子だった。

来年度の再会を約束してホールいっぱい大きな輪をつくり、「マイムマイム」のフォークダンスで締めくくった。ミサ献金の3万6千877円は福音館炊き出しへ寄付された。

第二部では各教会が持つ「春日井教会 小熊加和子」

標を立てられました。目標②「弱い立場に置かれた人々を中心とした社会を目指す」の「具体的な試み」に、「社会問題についての教区や司教団からの情報や呼びかけを共同体に伝え、その要請に応えるための委員会」を小教区につくると述べておられます。

2017年船員司牧《AOS》全国研修会

世界をつなぐ人と海



日時 7月7日(金) 12:30 ~ 8日(土) 12:00
場所 カトリック港教会(主会場) 名古屋市港区錦町25-17 ☎052-389-1841
対象 船員司牧に関心のある方、興味のある方。
参加費 名古屋港見学を含む参加の場合 3,000円
講演会以降の参加の場合(港内見学を含まない) 1,000円
懇親会費は別途3,000円かかります。

エスナックフェスティバル
【エスナック=アジアとアフリカの子供たちに教育を贈る会】

国際協力 NGO エスナック教育里親グループは、一方的に貧しい子どもたちを援助するのではなく、相互援助のために創立されました。エスナックでは2、3年に一度、現地で里子と直接関わっている人たちを招いてフェスティバルを開催します。

2017年度 OCDS 名古屋年次黙想会
~涼やかな森の中で、跣足カルメル在会員と共に祈り、神を賛美する3日間~

跣足カルメル在会(OCDS)名古屋共同体企画
日時 9月16日(土) 午後4時~
9月18日(月・祝) 午後3時(予定)
場所 宇治カルメル会 聖テレジア修道院(黙想の家)
☎0774-32-7016 〒611-0002 宇治市木幡御藏山39-12

東日本大震災・災害支援金の報告

社会福祉委員会
発災時より社会福祉委員会へ振込まれた支援金を下記の通りご報告いたします。暖かいご支援に心より感謝いたします!!

Table with 3 columns: 摘要, 単月明細, 2011.3.17発災から2017.5.31までの合計

(※)5月度に支援金のご協力いただいた小教区 金沢教会、落合一美様
★名古屋教区は「カリタス大船渡ベース・地ノ森いこいの家」とカリタス米川ベース、NPO法人「障がい者自立センターかまいし」、カリタス南相馬(旧・原町ベース)、カリタスジャパン(東日本大震災募金)の応援をしています。

2017年度名古屋教区 神言会・聖霊会 JPIC 勉強会シリーズ

「移民・移住者の司牧について」(全4回)
第2回 9月9日(土)「信徒の立場・視点から」
講演者:村上満一氏(三河カトリックセンター ボランティア 安城教会信徒)
第3回 11月25日(土)「信徒の立場・視点から」
講演者:森永デイン氏(プロテスタント信徒)
第4回 2018年2月17日(土)
「これからの移民・移住者の司牧について」
講演者:松浦悟郎司教(名古屋教区司教)

ラビリンスメディテーションへの おさそい

このたび聖霊ミッションセンターではラビリンスメディテーションのプログラムを準備しました。日常を離れ、静かに祈り、分かち合いたい方、どなたでもご参加ください。

Table with 2 columns: 日程, テーマ

時間 毎回13:30~16:30
場所 聖霊ミッションセンター(旧八事聖霊幼稚園)
名古屋市昭和区八事本町1
参加費 200円
問合せ ☎052-832-0434

平和旬間(8月6日~8月15日) 第9回 平和記念の集い

平和をつなぐため、非暴力による平和の実現を希い、一人でも多くの方々と共に祈りたいと思います。どなたでもご参加ください。

日時 8月13日(日) 13:00~15:30
場所 カトリック南山教会マリア館ホール(2階)
名古屋市昭和区南山1
地下鉄鶴舞線「いりなか」駅下車徒歩5分
内容 講話 岡崎教会主任 早川努神父
テーマ「キリスト者として、私は何をすべきか、平和のために」
合唱(南山教会聖歌隊)
朗読(有志)
聖書朗読、平和を求める祈り、共同祈願 等
主催 南山教会信徒、その他有志
連絡先 井爪謙治
☎/FAX 052-831-7719



—あらゆる壁を越える教会をめざす中で—

早川努

(社会福音化推進部)

